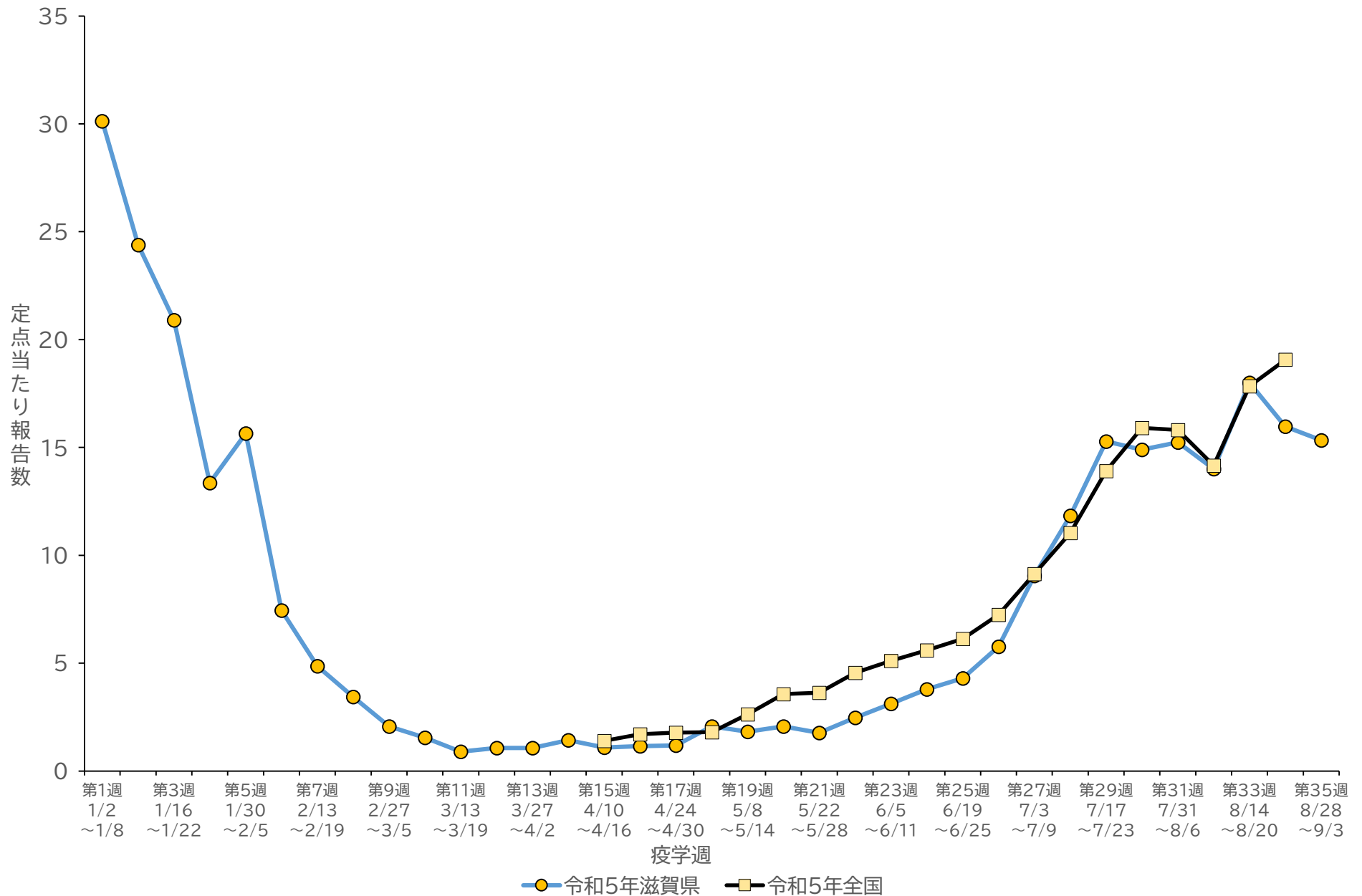

新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 8月28日～9月3日

9月7日 健康医療福祉部 健康危機管理課

滋賀県の新型コロナウイルス感染症流行状況 2023年第1週～第35週



第18週までのデータは各医療機関から報告があった日次報告から定点医療機関分を抽出し計算しています。

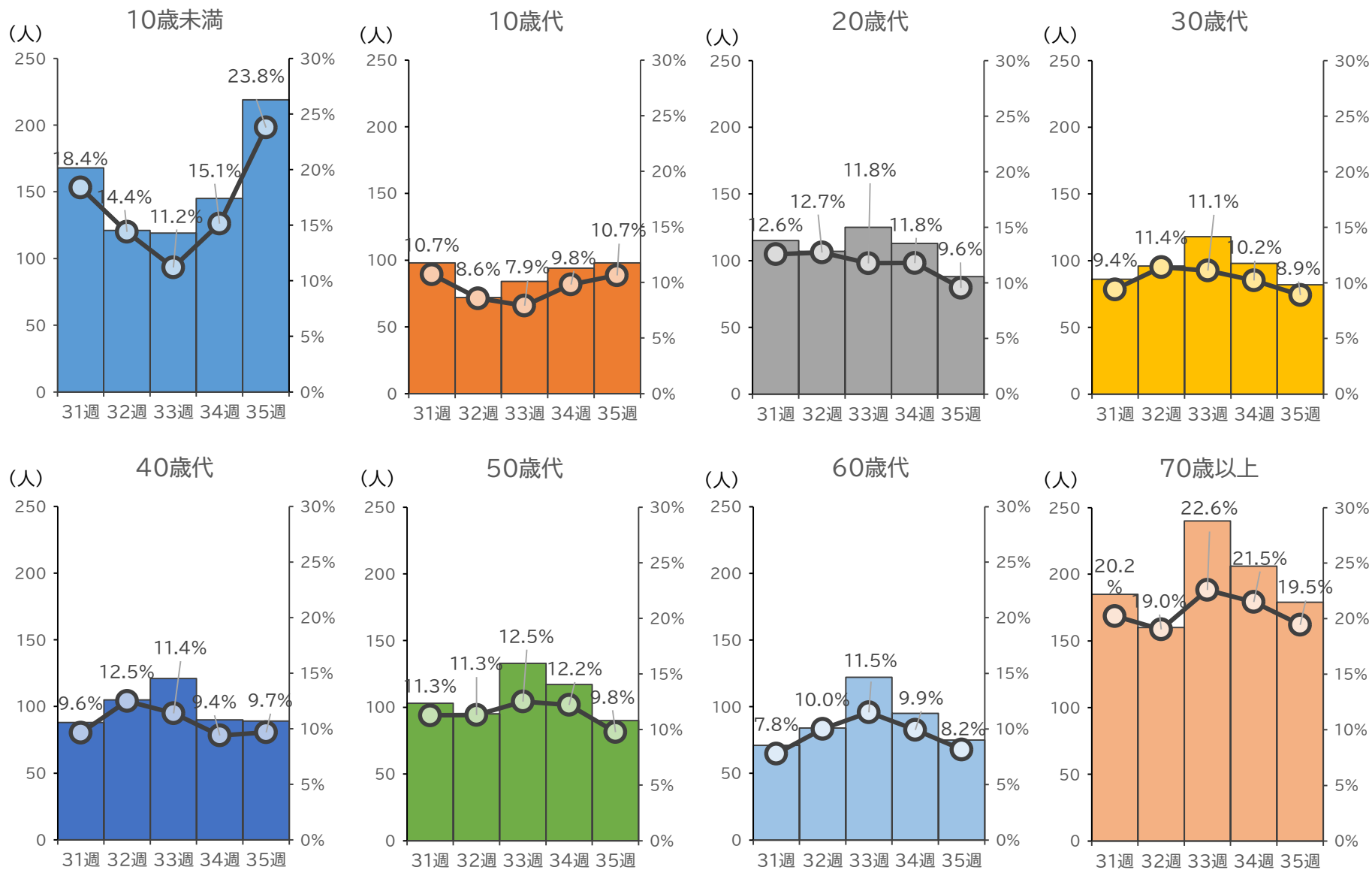
保健所圏域別 新型コロナウイルス感染症の週別定点当たり報告数

		大津市 (定点数:13)	草津 (定点数:13)	甲賀 (定点数:7)	東近江 (定点数:10)	彦根 (定点数:7)	長浜 (定点数:7)	高島 (定点数:3)	合計 (定点数: 60)	今週/ 先週比
第26週 6/26~7/2	定点あたりの報告数	8.85	3.15	4.83	5.80	6.43	4.00	8.00	5.76	1.34
	報告数	115	41	29	58	45	28	24	340	
第27週 7/3~7/9	定点あたりの報告数	17.08	5.69	5.33	7.50	10.14	4.29	10.00	9.05	1.57
	報告数	222	74	32	75	71	30	30	534	
第28週 7/10~7/16	定点あたりの報告数	21.62	8.38	7.83	9.20	12.00	8.00	9.67	11.83	1.31
	報告数	281	109	47	92	84	56	29	698	
第29週 7/17~7/23	定点あたりの報告数	26.38	10.31	13.86	11.80	14.57	12.43	12.00	15.28	1.29
	報告数	343	134	97	118	102	87	36	917	
第30週 7/24~7/30	定点あたりの報告数	24.15	9.77	11.43	15.90	13.14	9.43	18.67	14.90	0.97
	報告数	314	127	80	159	92	66	56	894	
第31週 7/31~8/6	定点あたりの報告数	25.46	12.46	11.86	15.20	10.43	9.57	15.33	15.23	1.02
	報告数	331	162	83	152	73	67	46	914	
第32週 8/7~8/13	定点あたりの報告数	23.69	8.85	11.71	11.40	12.43	10.29	20.67	14.00	0.92
	報告数	308	115	82	114	87	72	62	840	
第33週 8/14~8/20	定点あたりの報告数	25.67	17.08	14.14	11.30	27.71	10.71	17.00	18.00	1.29
	報告数	308	222	99	113	194	75	51	1062	
第34週 8/21~8/27	定点あたりの報告数	23.54	9.77	13.43	18.00	16.29	14.57	11.67	15.97	0.89
	報告数	306	127	94	180	114	102	35	958	
第35週 8/28~9/3	定点あたりの報告数	22.77	10.31	12.29	16.10	14.14	15.00	13.00	15.33	0.96
	報告数	296	134	86	161	99	105	39	920	

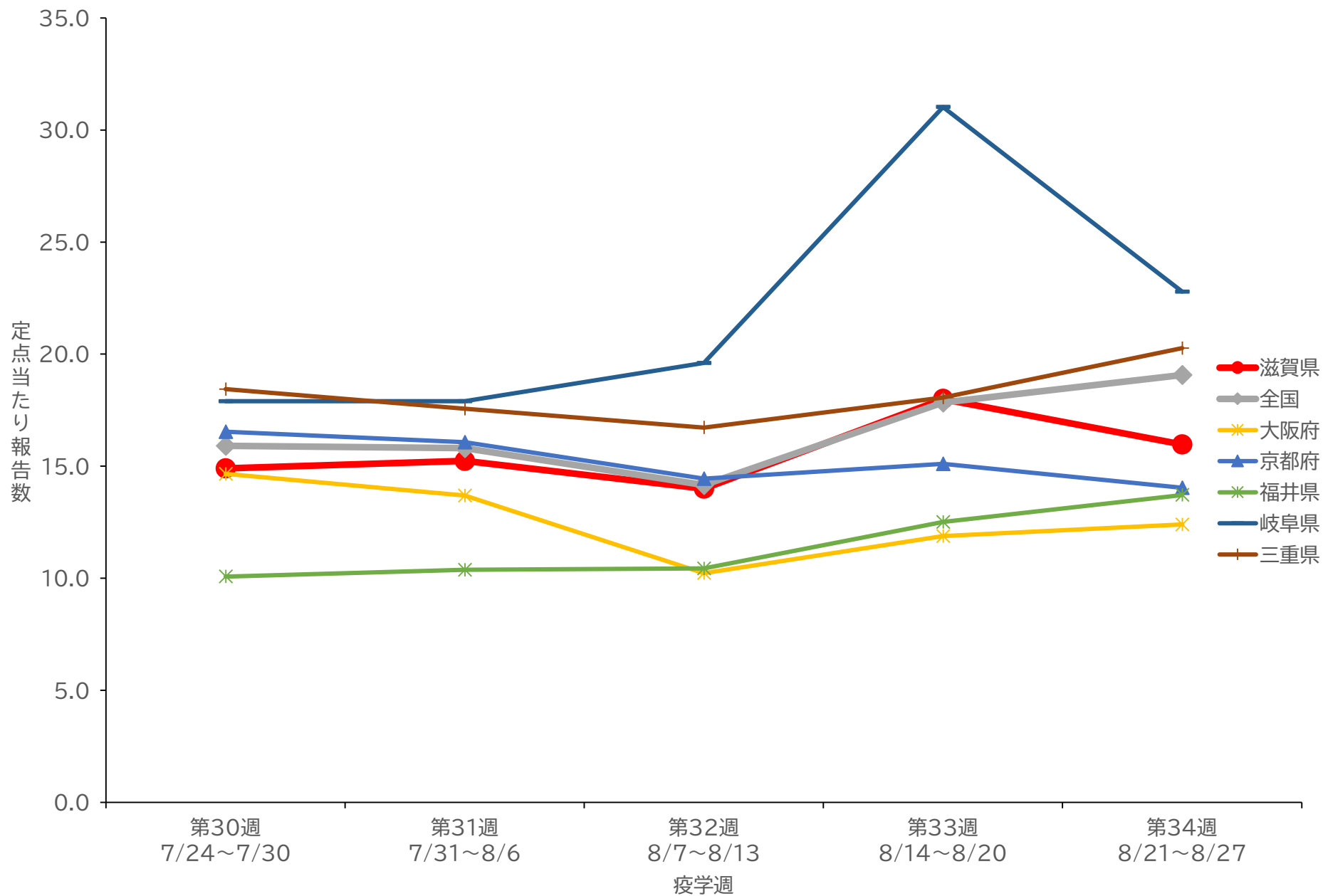
※第26週、第27週および第28週の定点数は、滋賀県59医療機関(甲賀6医療機関)となっています。
第33週の定点数は、滋賀県59医療機関(大津市12医療機関)となっています。

新型コロナウイルス感染症の年齢階級別推移(直近5週分)

棒グラフ:報告数(人) 折れ線グラフ:全年齢に占める割合(%)



近隣府県別 新型コロナウイルス感染症の発生動向(直近5週分)



県内の感染状況・各指標の状況について(9/3現在)

1) 県内の病床数の状況

病床数	入院者数		空数
		うち重症者数	
284	138	0	146

重症：ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式模型人工肺)が必要な方

現時点の確保病床の占有率※1	48.6%
最大確保病床の占有率※2	30.9%
うち重症者用病床の確保病床の占有率※3	0.0%

※1 現時点で確保している病床数、284床に対する割合

※2 ピーク時に確保予定である病床数、446床に対する割合

※3 ピーク時に確保予定である病床数、33床に対する割合

2) 県内の宿泊療養施設の状況

部屋数	療養者数	空数
52	9	43

宿泊療養施設について：新型コロナウイルス感染症に関する検査結果が陽性であって、入院を要しない場合で重症化リスクを有するなど特別な配慮が必要な高齢者の方が、宿泊療養施設での療養を行っていただく場合があります。

3) クラスターの発生状況について(過去1週間)

介護関連事業所	障害福祉関連施設	医療機関
2	1	0

過去1週間に県で確認したクラスターを掲載しています。保健所への相談、イベントベースサーベイランスでの検査等で、同一施設で5名以上の陽性者が確認された事例をクラスターとして報告しています。

4) 直近1週間の検査数

検査数	7,219件
-----	--------

検査数について：過去1週間に県で確認した検査数を掲載しています。

5) 直近1週間の救急搬送困難事案

発生件数	0件
------	----

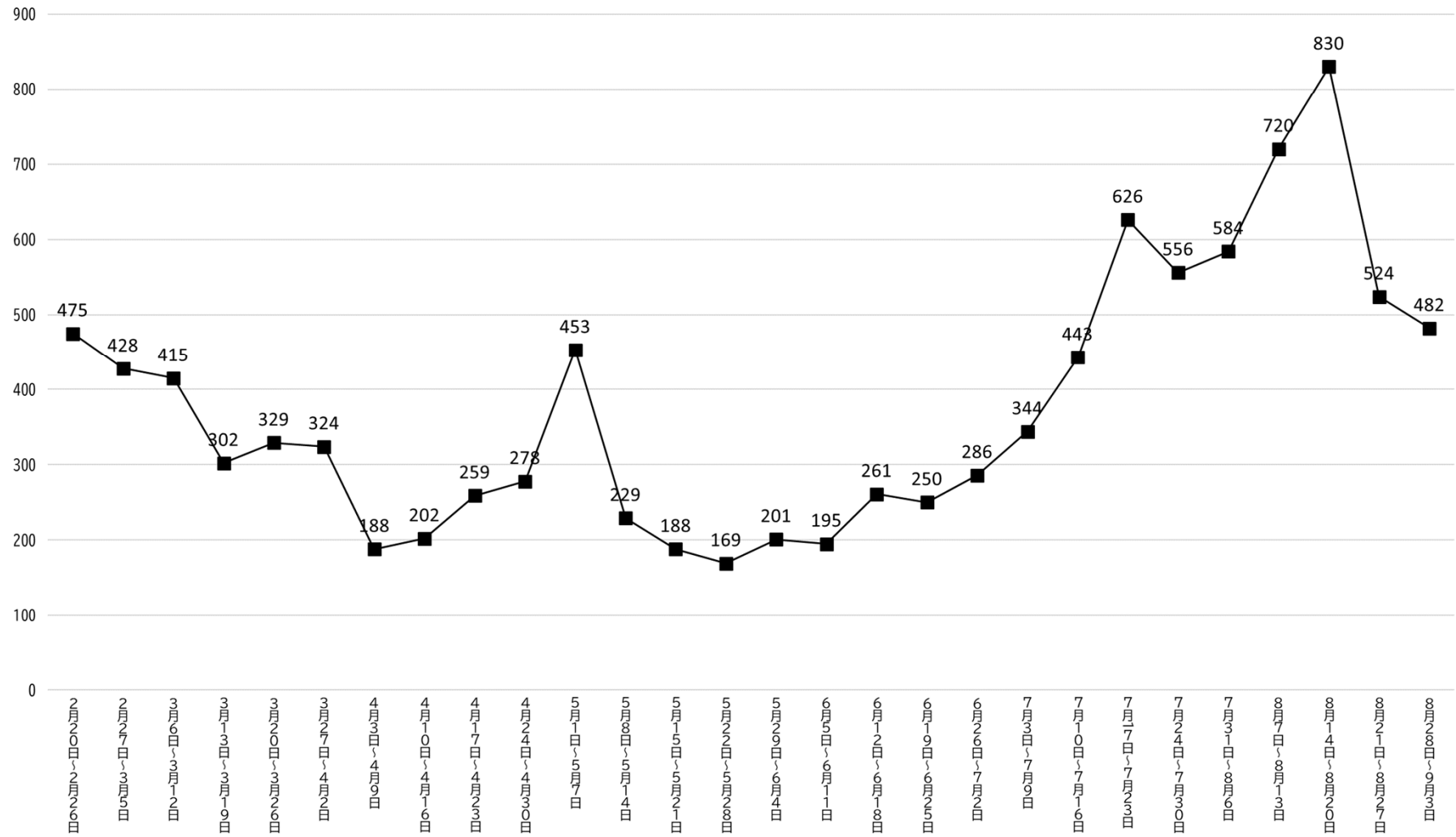
大津市消防局から報告数を掲載しています。

相談体制について

相談件数(週計)

■ 受診・相談センター

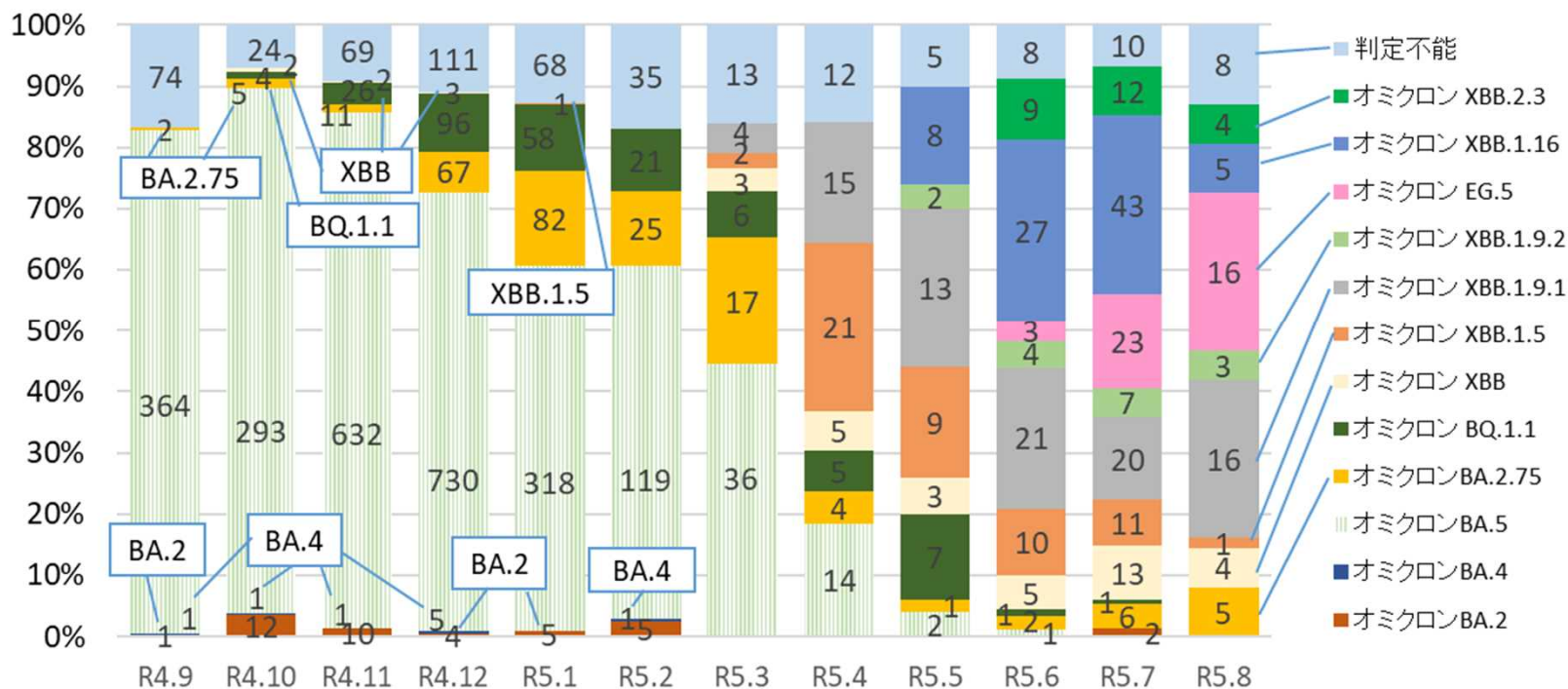
相談件数(件)



変異株にかかるゲノム解析状況について

- 世界的にはEG.5系統が26.1%、XBB.1.16系統が22.7%、XBB.1.9.1系統が13.2%、XBB.1.5系統が10.2%を占めている。(WHO COVID-19 Weekly Epidemiological Update Edition 158 published 1 September 2023)
- 全国的にはEG.5系統が増加傾向にあり、滋賀県でも令和5年6月に検出された。
- 滋賀県では、令和5年8月時点ではXBB系統が全体の79.0%(うちXBB.1.9.1系統は25.8%、EG.5系統は25.8%、XBB.1.16系統は8.1%、その他XBB系統は19.3%)を占めており、感染の主流系統となっている。
- WHOは、XBB.1.9.2系統の一種であるEG.5系統を注目すべき変異株として指定したが、入院患者数や死亡者数が増加しているとの情報はない。今後の発生動向を注視する必要がある。(WHO adds Omicron EG.5 to variant monitoring as global COVID markers decline further Lisa Schnirring, July 21, 2023)また、BA.2.86系統について、30か所を超えるスパイク変異を持つため監視中の変異株として指定された。現時点で日本での検出は確認されていないが、変異部位の多さによる免疫回避能力の強さ等において今後の動向に注意が必要である。(世界の新型コロナウイルス変異株流行状況(東京都健康安全研究センター),令和5年8月23日)

ゲノム解析結果(検体採取日別 月報)



評 価(8月28日~9月3日)

- 滋賀県の定点当たりの報告数は15.33で、前週と比べ横ばいとなっています。
- 全ての保健所別で横ばいとなっています。
- 年齢別では、10歳未満で大きく増加しています。学校欠席者情報収集システムにおいても報告数が大きく増加しています。
- 小中高等学校で2学期が始まりました。10歳未満、10歳代の感染動向に注視が必要です。
- また、70歳以上の報告数が多い状況が続いています。重症化リスクが高い方(高齢者、基礎疾患がある方等)と会う場合は、特に感染対策をお願いします。